

授業科目

福祉工学概論

担当教員名 前田 雄、秋元 幸平、高橋 義信	対象学年	4	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

超高齢社会では、労働人口の減少により自分で自分を介護しなければいけない状況さえも生じる。一方、社会生活におけるゆとりと豊かさますます求められている。そのような状況に対応すべく福祉用具や更には福祉ロボットやレジャーロボットに対する期待が高まっている。本科目では福祉用具とロボットの工学的基礎を習得するために、現在考えられている福祉用具やロボットの将来性について講義をする。またそれらが安全に使用されるための規格や検査についても講義を行う。

授業の目的

超高齢社会に対応すべく福祉用具や更には近年、期待の高まっている福祉ロボットやレジャーロボットに対して知識を広げる。本科目では福祉用具とロボットの工学的基礎を学び、現在考えられている福祉用具やロボットの将来性を理解する。またそれらが安全に使用されるための規格や検査についても習得する。

学習目標

1. 代表的な福祉用具について概要を説明できる
2. 福祉用具について現在求められている技術的課題を説明できる
3. 代表的な福祉ロボットについて概要を説明できる
4. 福祉ロボットについて現在求められている技術的課題を説明できる
5. 福祉用具の安全基準、標準規格について説明できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス・福祉用具とロボットの概要	講義	前田 雄
2	福祉用具の現状と課題 その1	講義	秋元 幸平
3	福祉用具の現状と課題 その2	講義	秋元 幸平
4	福祉用具の規格と認証評価	講義	秋元 幸平
5	福祉ロボットの現状と課題 その1	講義	高橋 義信
6	福祉ロボットの現状と課題 その2	講義	高橋 義信
7	福祉ロボットの規格と認証評価	講義	高橋 義信
8	まとめ	質疑応答	前田 雄

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	必要に応じ、資料を配布する					

評価方法

レポート（全体評価の約20%）最終テスト（全体評価の約80%）から評価する。

履修上の留意点

欠席が時間数の1/3を超えた場合、単位認定資格を失う。遅刻2回で1回の欠席とする。1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点、最終評価から減点する。

オフィスアワー・連絡先

yu-maeda@nuhw.ac.jp